

NACCS業務講習会 航空編

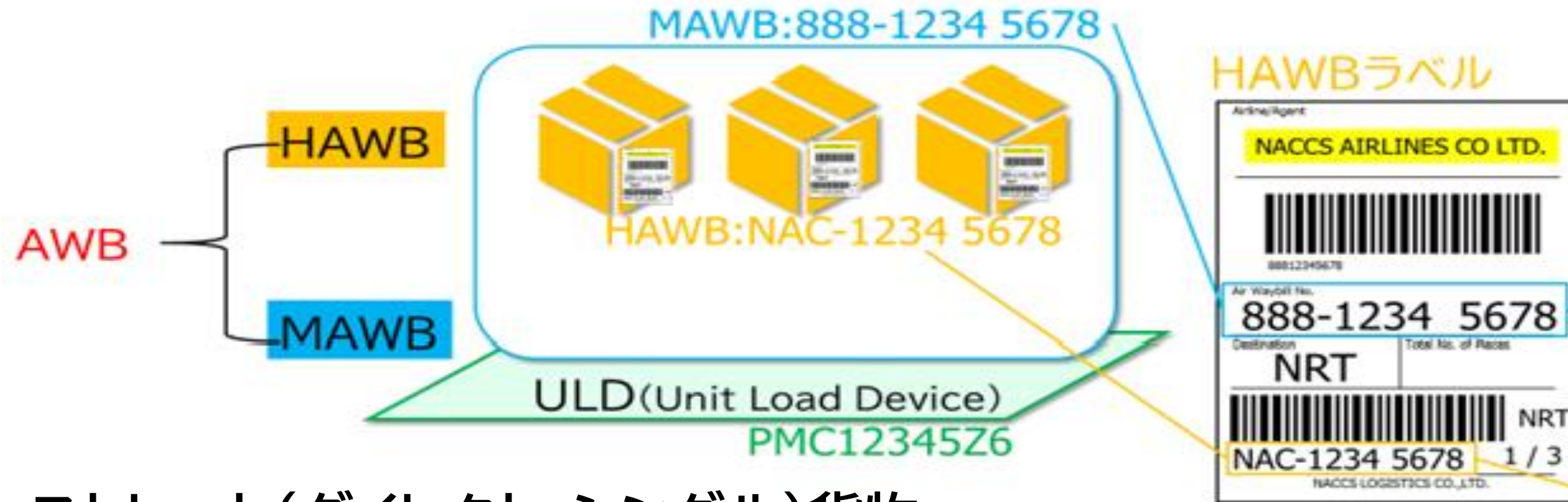
【保税業務】

輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社

目次

● 航空貨物の概念(イメージ例:混載貨物)	2	● 貨物取扱業務について(輸出・輸入)	
		● 蔵置中の保税貨物に行う各種業務一覧(輸出)	32
● 輸出業務概要について		● 蔵置中の保税貨物に行う各種業務一覧(輸入)	33
● 輸出業務フロー(輸出ストレート貨物)	4	● 蔵置中の保税貨物に行う各種業務一覧(輸出入共通)	34
● 輸出業務フロー(輸出混載貨物)	5		
● 搬入確認登録について	6	● 主な照会業務について(輸出・輸入)	
● 搬出確認登録について	10	● 輸出貨物情報照会について	36
● 搬出確認取消について	14	● 輸入貨物情報照会について	40
● 輸入業務概要について		● 管理統計資料	
● 輸入業務フロー(輸入ストレート貨物)	16	● 管理統計資料について	46
● 輸入業務フロー(輸入混載貨物)	17	● 管理統計資料の取だし	48
● 貨物確認情報登録について	18	● 管理統計資料の展開	49
● 貨物確認情報終了登録について	19	● 管理統計資料の活用(保税台帳の作成について)	50
● 混載貨物確認情報登録について	20	● 保税管理資料保存サービス	52
● 搬出確認登録について	21		
● 貨物確認情報訂正について	22		
● 輸入貨物情報変更登録について	26		
● 輸入貨物の搬出入について	27		
● 搬入確認登録について	28		
● 輸入貨物を輸出貨物として積戻す(RE-SHIP)場合のフロー	30		

航空貨物の概念(イメージ例:混載貨物)



HAWB(航空運送状)

[illegible]

ストレート(ダイレクト・シングル)貨物

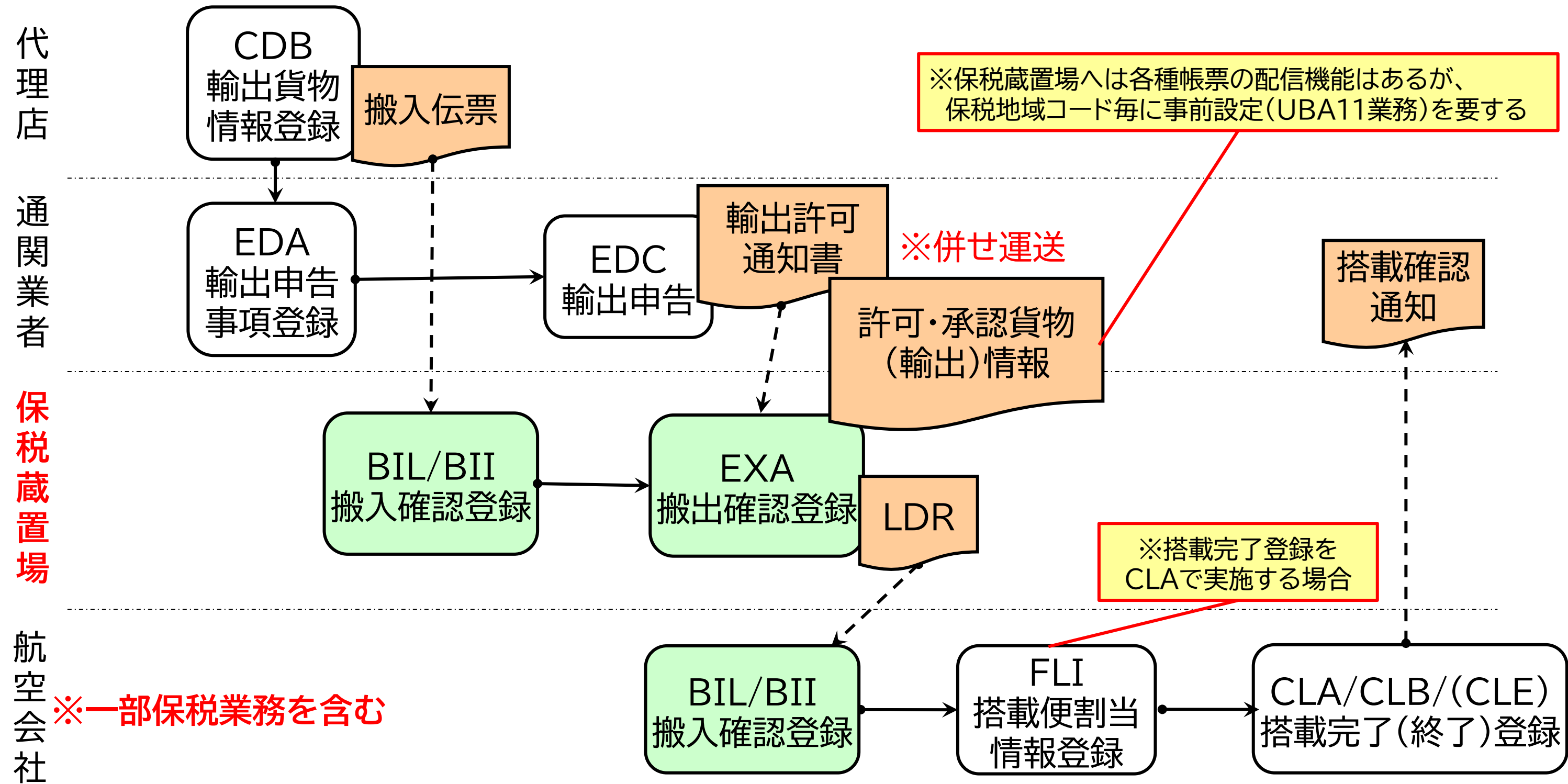
- 航空会社(航空代理店)と輸出入者が運送契約を行います。
→航空会社がAWBを発行し、AWB番号が割り当てられます。

混載貨物(2段階の運送契約)

- 航空会社と混載業者(フォワーダー)が運送契約を行います。
→航空会社がMAWB(マスターAWB)を発行し、MAWB(マスターAWB)番号が割り当てられます。
- 混載業者(フォワーダー)と輸出入者が運送契約を行います。
→混載業者(フォワーダー)がHAWB(ハウスAWB)を発行し、HAWB(ハウスAWB)番号が割り当てられます。

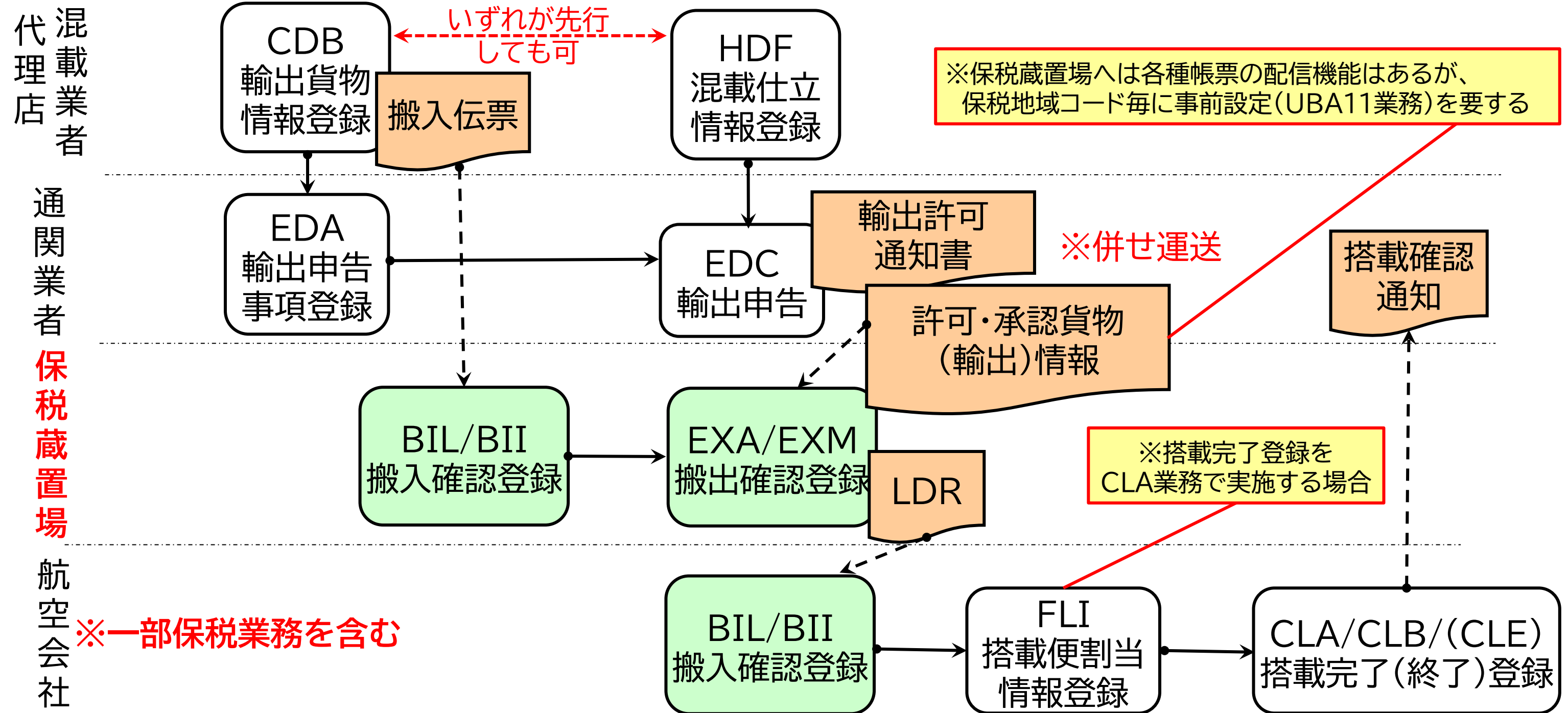
輸出業務概要について

輸出業務フロー(輸出ストレート貨物)



- 輸出する貨物は、航空会社への搬入までに、税関からの輸出許可を受ける必要があります。
- 保税蔵置場は、BILまたはBII業務で搬入し、EXA業務で搬出を登録します。
- 搭載完了登録(CLAまたはCLB業務)にて貨物管理は終了します(システム上の更新不可となるタイミング)。

輸出業務フロー(輸出混載貨物)



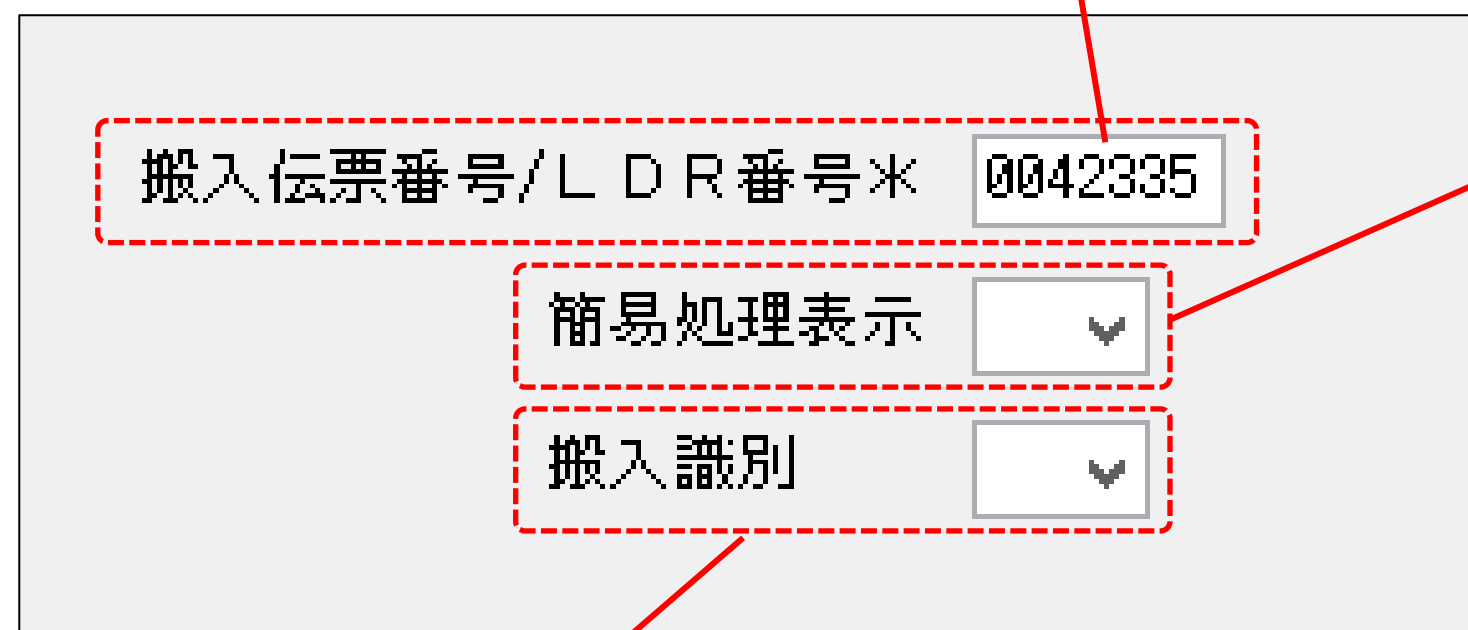
- ・輸出混載貨物(HAWB)は、原則航空会社への搬入までに、税関からの輸出許可、混載業者によるHDF(混載仕立情報登録)業務でのMAWBとの紐づけが必要です。
- ・保税蔵置場は、BILまたはBII業務で搬入し、EXAまたはEXM業務で搬出を登録します。
- ・搭載完了登録(CLAまたはCLB業務)にて貨物管理は終了します(システム上の更新不可となるタイミング)。

BIL(一括搬入確認登録呼出し)業務

搬入伝票(またはLDR)番号を入力し、輸出貨物情報(AWB番号単位)を入力画面(BIL01(次頁))へ展開します。

BIL業務の入力画面

搬入伝票番号またはLDR番号を入力



スペース:情報呼出し(入力画面へ展開)
Y:簡易処理
O:時間外搬入簡易処理
F:「Y」または「O」がエラー出力時、発生したエラー原因の除去後、
処理対象外となった貨物から再度簡易処理を行う
注)搬入識別欄「P」「R」とした場合は入力不可

BIL01業務へ

※簡易処理「Y」以外の場合

スペース:情報呼出し(入力画面へ展開)
P:搬入すべき貨物をすべて保留とする
R:簡易処理「Y」または「O」がエラーとなった場合に、
簡易処理を使用せずに搬入処理を行う
注)簡易処理表示欄「Y」「O」「F」とした場合は入力不可

簡易処理「Y」とは…

搬入伝票やLDRの内容と貨物が相違ない場合、BIL01画面を
BIL01画面を展開することなく搬入登録を実施する機能です。

BIL01(一括搬入確認登録)業務

BIL業務から呼び出した情報にて、保税蔵置場へ貨物搬入を登録します。

BIL01業務の入力画面(BIL業務からの呼出し)

搬入伝票番号／L D R 番号＊

0042335

代理店

搬出 保税蔵置場

搬入 保税蔵置場

棟記号

車上通関表示

時間外搬入表示

トラック番号

搬入年月日

	A W B 番号	個数	重量	仕向地	S P C	S	混載	積込港	E / D 番号
	品名	事故	備考						
01	NAC - 605255 BOOK								
02									
03									

スペース:搬入確認
X:一括搬入処理対象外
P:搬入保留
*:搬入不能(処理対象外)

貨物種別が「R」、「T」、「O」の場合は保税運送承認番号
または輸出許可番号を入力
R:未通関積戻し貨物
T:システム外許可済貨物
O:システム外許可済積戻し貨物

一括搬入処理の対象外とした貨物について搬入確認を行う場合、個別搬入確認(BII01業務)を行います。(9ページ参照)

BII(個別搬入確認登録呼出し)業務
AWBを入力することにより、登録されている輸出貨物情報を呼び出します。

BII業務の入力画面

代理店 他所蔵置場所 ULD番号 伝票種別 伝票番号

	処理識別	貨物識別	AWB番号	貨物種別
01		H	NAC - 605226	N
02			-	
03			-	

D:搬入伝票
L:LDR番号
※いずれかを入力した場合、
伝票番号欄へ入力をする

伝票識別に対応して、以下の番号を入力
搬入伝票番号:伝票識別にDを入力時
LDR番号:伝票識別にLを入力時

BII01業務へ

BII01(個別搬入確認登録)業務

BII業務により登録済み※の貨物情報を呼び出し、AWB番号単位または未ラベル番号単位に貨物が保税蔵置場に搬入された旨を登録します。

※貨物情報がない場合、単にBII01業務画面が展開します。

BII01業務の入力画面(BII業務からの呼出し)

代理店

棟記号

車上通関表示

時間外搬入表示

他所蔵置場所

搬入年月日

ULD番号

伝票種別

伝票番号

AWB番号

混載

航空会社

積込港

品名

個数

総個数

重量

DST

SPC

X

事故

営業所

F

MAWB番号

備考

01

H

NAC

-

605226

N

100

100

10000.0

SHA

EC0

J1FC0

BOOK

E/D番号

許可・承認等件数

02

-

E/D番号

許可・承認等件数

許可・承認等番号(E/D欄)が5件以上ある場合は、その超過した件数を入力

BIL「X」後の搬入は、伝票種別・伝票番号・AWB番号欄を入力します。

貨物情報未登録、かつ「代理店欄」と「品名欄」に入力がない場合、EXA01業務では、エラーとなるのでご注意ください。(AIB(搬入情報訂正呼出し)業務での訂正が必要)

EXA(搬出確認登録(AWB・HAWB単位)呼出し)業務

入力したAWB番号(AWB単位またはHAWB単位)にて、輸出貨物情報を呼び出します。

EXA業務の入力画面

MAWB番号

-

搬出先*

1AAB2

搬出元

積込港

NRT

TRMNO

搬出区分

▼

時間外搬出表示

☐

トラック番号

請求先

強制表示

☐

処理

AWB番号

01

☐

NAC

-

605255

02

☐

-

03

☐

-

保税地域コードを入力

IATA空港コードを入力
※所属する空港との関連がシステムに
設定されている場合は、入力省略可能

スペース:通常搬出
J:自社運送
T:保税運送(仮陸揚貨物)
F:不積返送
R:保税運送(積戻し貨物)
2:トランスファー(他航空会社への移動)
D:内貨引取
H:携帯貨物
M:滅却
B:亡失
O:その他
A:未通関貨物搬出(輸出申告可能航空会社保税蔵置場向け)

EXA01業務へ

EXA01(搬出確認登録(AWB・HAWB単位))業務
貨物を保税蔵置場または他所蔵置場所から搬出した旨を登録します。

EXA01業務の入力画面(EXA業務からの呼出し)

MAWB番号 - LDR番号

搬出先 搬出元 積込港 TRMNO 搬出区分

搬出年月日 時間外搬出表示 ☐ トラック番号 請求先 強制表示 ☐

搬出確認の処理対象外とする場合、「X」を入力

	AWB番号	個数	重量	仕向地	S	代/混	UBG	特記事項
01	☐ H NAC - 605255	100	10000.0	SFO	☐	J1FC0		M E H
02	-				☐			
03	-				☐			

搬出可能な個数を自動補完
(分割搬出時には、上書き入力可。
但し、搬出重量は自動按分)

搬入確認登録時に枝番搬入された貨物であっても、搬出個数は搬入枝番単位ではなく蔵置個数で出力されます。(AWB単位やHAWB単位となる)

EXM(搬出確認登録(MAWB単位)呼出し)業務

MAWB番号に関連付けされている貨物情報を呼び出し、EXM01業務へ展開します。
(ULDに積み付けされた貨物は除く)

EXM業務の入力画面

MAWB番号*	888 - 10064143
LDR番号	
搬出元保税蔵置場	
混載業	
積込港*	NRT

ジョイント混載貨物をジョイント業者ごとに
搬出する場合のみ、その利用者コード5桁を入力

EXM01業務へ

EXM01(搬出確認登録(MAWB単位))業務

EXM業務にて呼び出された貨物を保税蔵置場または他所蔵置場所から搬出した旨を登録します。

EXM01業務の入力画面(EXM業務からの呼出し)

スペース:通常搬出
J:自社運送
2:トランスファー(他航空会社への移動)

MAWB番号 - LDR番号 混載業

搬出先* 搬出元* 積込港 TRMNO 搬出区分

搬出年月日 時間外搬出表示 ☐ トラック番号 請求先 強制表示 ☐

	HAWB番号	個数	重量	仕向地	S	代/混	UBG	特記事項
01	NAC - 605226	100 -	10000.0	SHA		J1FC0		M E H
02	-	-						
03	-	-						

スペース:搬出確認
X:搬出確認の処理対象外とする場合に入力
E:搬出処理終了(入力した欄までを処理対象とする)

搬出先が航空会社の場合、MAWB番号に登録されている航空会社と同一であること

本業務でMAWBに係る貨物をすべて搬出した場合は、入力者及び搬出先(出力する旨が登録されている航空会社)に対して、LDR情報を出力します。

搬出確認取消について

EXC(搬出確認取消呼出し)業務 及び EXC01(搬出確認取消)業務
EXC業務にて登録されている貨物情報を呼び出した上で、EXC01業務にて搬出確認の取消を実施します。

EXC業務の入力画面

LDR番号を入力

LDR番号*

処理区分

スペース:個別取消し
X:一括取消し
U:訂正

EXC01業務へ

EXC01業務の入力画面(EXC業務からの呼出し)

LDR番号*

処理区分

搬出先

搬出元

積込港

TRMNO

搬出区分

搬出年月日

トラック番号

AWB番号

搬出個数

搬入個数

重量

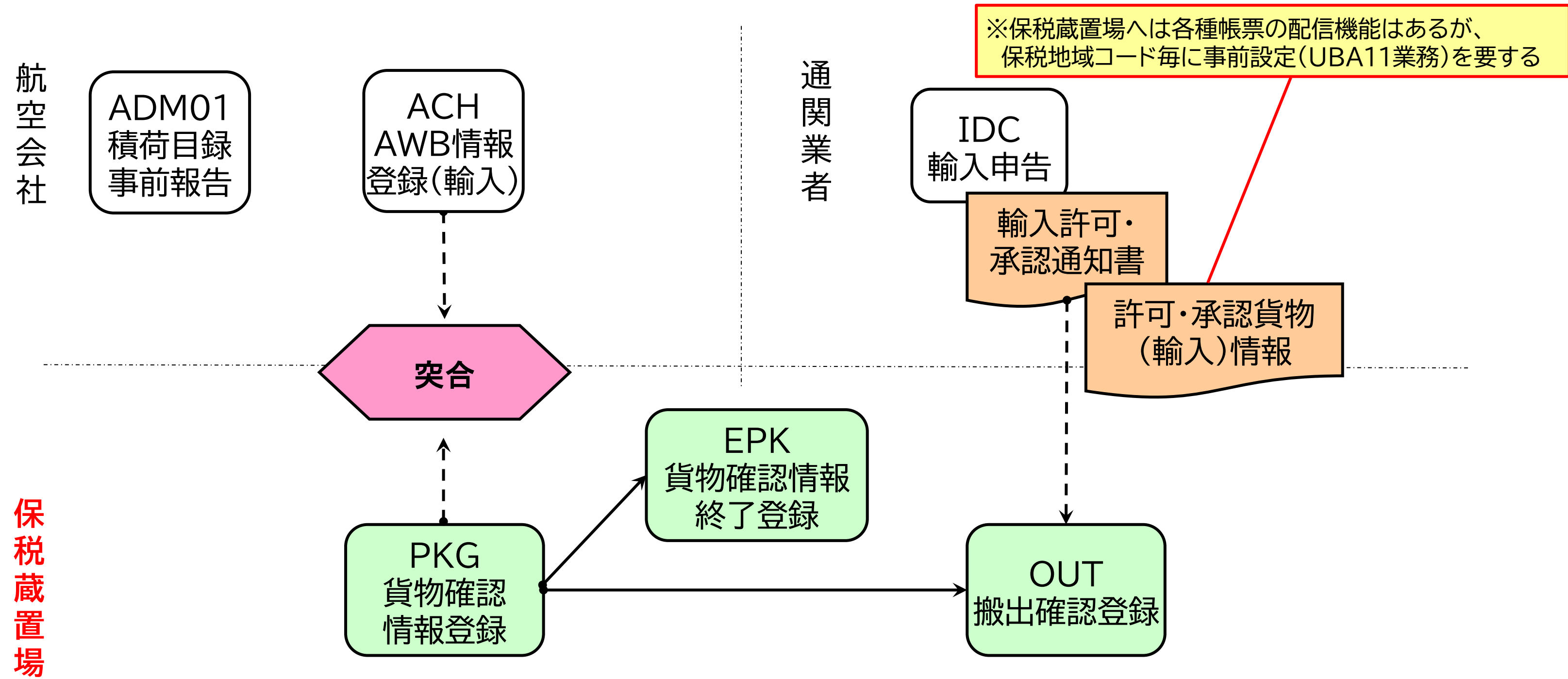
AWB番号を入力

処理識別を入力
(1)処理区分がスペース(個別取消し)または「X」(一括取消し)の場合は、「X」(取消し)またはスペースを入力
(2)処理区分が「U」(訂正)の場合は、「U」(訂正)またはスペースを入力
*、スペース:処理対象外
X:取消し
U:訂正

搬出先で、搬入確認登録(BIL業務またはBII業務)が完了している場合には、既に貨物情報は搬出先の保税蔵置場に蔵置されているため、搬出確認の取消しは実施できません。

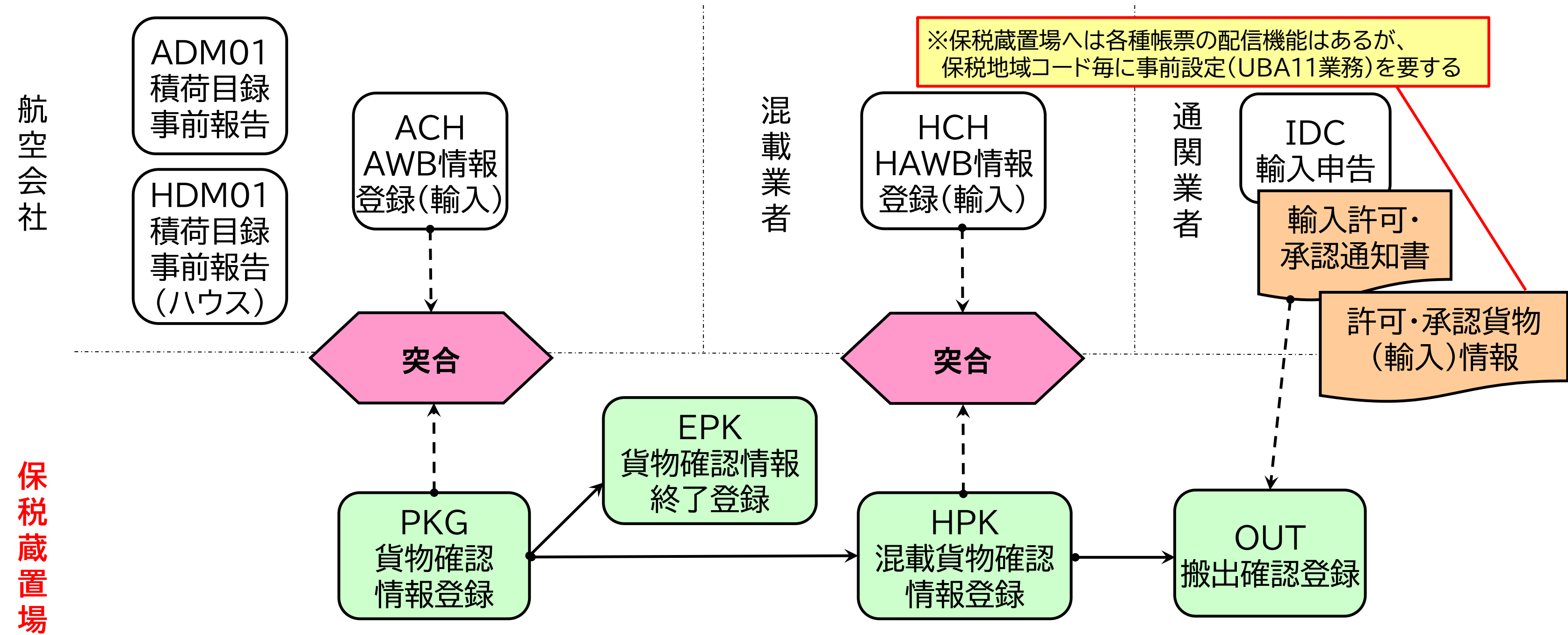
輸入業務概要について

輸入業務フロー(輸入ストレート貨物)



- ・外国貨物の輸入は、通関業者等はIDC(輸入申告)業務等にて、税関から輸入許可を受ける必要があります。
- ・保税蔵置場は、貨物確認情報登録(PKG業務)、及び搬出確認登録(OUT業務)を行います。
- ・輸入貨物の情報は、搬出確認登録(OUT業務)で、システム上完結します。

輸入業務フロー(輸入混載貨物)



- ・混載の外国貨物の輸入は、混載業者等でのHCH(HAWB情報登録)業務と、通関業者等でのIDC(輸入申告)業務等にて、税関から輸入許可を受ける必要があります。
- ・保税蔵置場は、混載貨物確認情報登録(HPK業務)、及び搬出確認登録(OUT業務)を行います。
- ・輸入貨物の情報は、搬出確認登録(OUT業務)で、システム上完結します。

PKG(貨物確認情報登録)業務

- ・外国貨物が最初に搬入・蔵置される保税蔵置場で、AWB単位に貨物個数及び貨物の確認結果を登録します。
- ・スプリット到着の場合、到着便毎に登録します。

入力重量単位コード
KGMまたはLBRを入力
ただし、「U」欄が「K」入力時は入力不可
便利機能として、2欄目以降の入力を省略した場合は
上位欄の重量単位コードを引き継ぐ

PKG業務の入力画面

到着便名*	XE0001 / 19APR	保税蔵置場	1AAB2	ULD收容	☐	差日数	☐	
AWB番号	U	個数	重量	C	SPC	事故	生鮮	M
ロケーション								
1 888 - 50841711	☐	10	100.0	KGM	☐	☐	☐	☐
ABC, 100								
2 -	☐							

ULD表示
I:UDA01で仕分けたULDインタクト貨物
L:UDA01で仕分けたバラ貨物
K:ULD

税関への届け出を必要とする事故の場合は次のとおりに入力。
1桁目 :Z
2～4桁目:事故コード3桁(業務コード集参、複数事故の場合は、代表とする事故コード)
5桁目 :発見時期 搬入時「I」 在庫中「S」

税関への届出を必要としない事故は入力自由。ULDまたはULDインタクト貨物の場合、入力不可。
先頭1桁目に税関への届出を要する「Z」コードを入力すると、入力者・税関双方に搬入状況通知情報(AAS0110)が配信される。その後、税関での事故解除登録を要する。

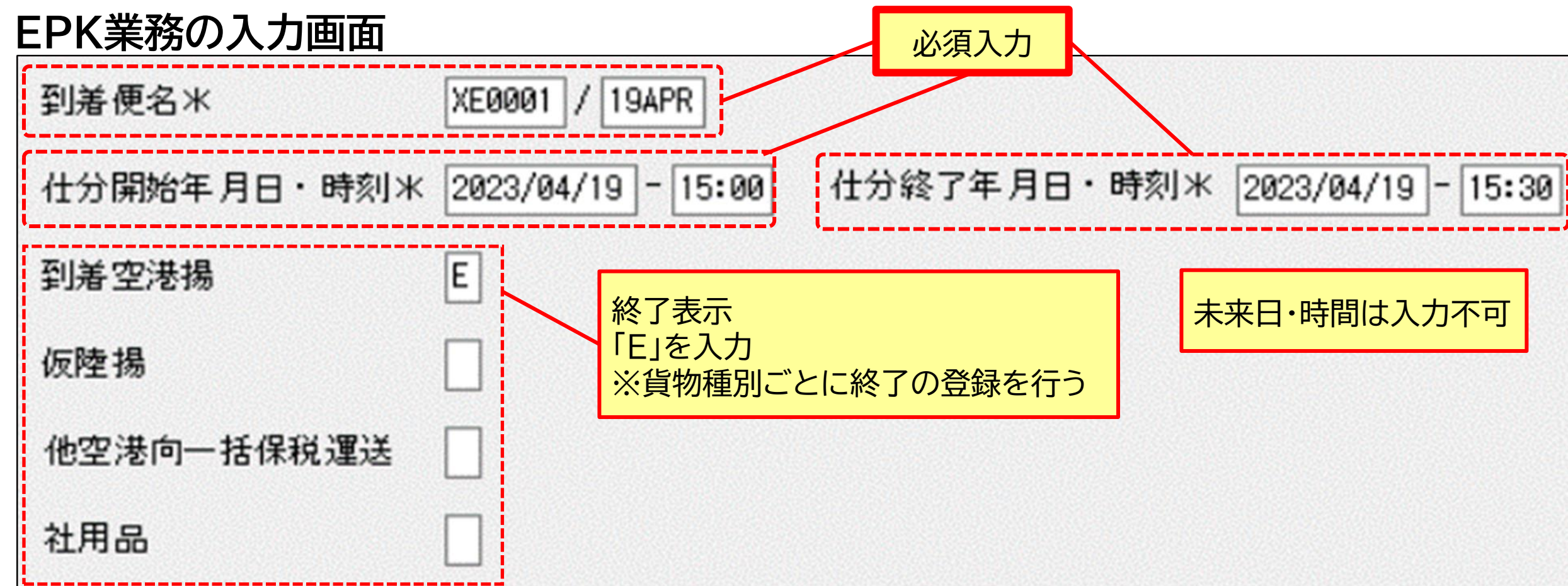
スプリットとは、同一AWBが複数の便に分割して搭載された貨物のことをいいます。

貨物確認情報終了登録について

EPK(貨物確認情報終了登録)業務

貨物確認情報の1便分の入力終了した旨を登録します。

EPK業務の入力画面



The screenshot shows the EPK business input screen with the following fields and annotations:

- 到着便名***: XE0001 / 19APR. An annotation box labeled **必須入力** (Mandatory Input) points to this field.
- 仕分開始年月日・時刻***: 2023/04/19 - 15:00. An annotation box labeled **必須入力** (Mandatory Input) points to this field.
- 仕分終了年月日・時刻***: 2023/04/19 - 15:30. An annotation box labeled **必須入力** (Mandatory Input) points to this field.
- 到着空港揚**: ☒ E. An annotation box labeled **終了表示「E」を入力 ※貨物種別ごとに終了の登録を行う** (End display "E" input ※ Register end by cargo type) points to this field.
- 仮陸揚**: ☐
- 他空港向一括保税運送**: ☐
- 社用品**: ☐
- An annotation box labeled **未来日・時間は入力不可** (Future date and time cannot be input) points to the end date and time fields.

EPK業務実施時、ACH(またはAAW(AWB予備情報登録))業務実施者である航空会社へ貨物確認終了情報(PKG END NOTICE)が配信されます。
航空会社は、配信情報を元に便単位で貨物確認情報の登録が終了したことを判断し、EAW(AWB情報終了登録)業務を実施、保税蔵置場にはフライトサマリーが配信されます。
(EPK業務前にEAW業務は実施できません)

EPK業務実施後、PKG業務での追加登録は不可です。
貨物確認情報登録の追加登録は、CPK(貨物確認情報訂正)業務を利用します。

HPK(混載貨物確認情報登録)業務

- 混載仕分けの結果(個数・事故の有無等)をMAWB単位に登録します。
- スプリット到着の場合は到着便毎に登録します。

HPK業務の入力画面

赤色破線枠①～⑥の項目は必須入力

① MAWB番号＊ 888 - 10064143 孫混載及び無料期間適用表示 ☐

② 到着便名＊ Z60002 / 18DEC NRT ジョイント ☐ 混載業 ☐

③ 取扱開始日時＊ 2019/12/18 - 11:00 取扱終了日時＊ 2019/12/18 - 11:10 ④

	HAWB番号	個数	重量	SPC	事故	手作業記号
	ロケーション					
1	⑤ NAC - 665545	⑥ 10	⑦ 100.0 - KGM	☐	☐	☐
	EFG, 10					
2	END					

2欄目以降の入力を省略した場合は、上位欄の重量単位コードが引き継がれる

HAWB番号を入力

HAWB番号での確認個数を入力

※MAWBにかかる全HAWB情報を入力した場合、「END」を入力 (HCH(HAWB情報登録(輸入))業務においても、MAWBにかかる全HAWB情報を入力した旨の「END」を入力)

事故コードの入力方法は、18ページのPKG業務を参照

OUT(搬出確認登録)業務

- ・ 保税蔵置場または他所蔵置場所に蔵置されている貨物の搬出を行います。
また、蔵置料の請求書等の作成を行います。
- ・ 搬出取消も本業務により行います。

OUT業務の入力画面

搬出の取消しを行う場合は、「X」を入力

システムにより蔵置料計算を行う蔵置場では、
①③は必須、②④は任意入力
※蔵置料計算を行わない場合は、入力不要

搬出年月日*		2023/04/24	取消表示	☐	集荷業者	NAC	他所蔵置場所	
AWB番号 差日数			代理店 ①	時間外 ②	搬出時刻	支払 ③	アディショナルチャージ ④	
01	NAC - 605545	☐	JIEC0	☐	__:__	1		
02	-	☐	COPY	☐	__:__			

「F」を入力した場合、
①CUR01(蔵置料金請求先登録呼出し)業務により登録された蔵置料金請求先が自動補完される。
②①以外の場合は輸入申告または保税運送申告等を行った申告者が自動補完される。
空白にした場合、上位欄の利用者コードが引き継がれる。

1またはスペース:CREDIT
2:CASH
3:FREE

(1)時間外の場合:O(オー)
(2)深夜割増料金の追加対象:N

CPK(貨物確認情報訂正)業務

PKG業務にて登録した貨物確認情報の訂正及び削除や、EPK業務後の貨物確認情報の追加が行える業務です。

《パターン①:訂正》 PKG業務後、不突合の貨物確認情報を訂正
例)PKG業務で個数や重量を誤入力した不突合貨物の訂正

《パターン②:削除》 PKG業務後、ACH業務実施前の貨物確認情報を削除
例)PKG登録後、誤入力したAWB番号の削除(ACH未登録の貨物)

《パターン③:追加》 EPK業務後、貨物確認情報を追加
例)EPK業務後、登録漏れ貨物の追加

貨物確認情報訂正について

CPK(貨物確認情報訂正)業務 《パターン①:訂正》

- ・ 不突合状態であれば、訂正可能です。
- ・ 突合済みの場合はCAI(輸入貨物情報変更登録呼出し)業務で訂正を行います。

PKG業務にて、個数や重量の入力を間違えてしまった場合の対応です。

IAW業務

AWB番号* - 次指定情報 詳細 ☐ 保税蔵置場 ☐
貨物識別 積込港 SPC ☐ 混載業 ☐ スプリット ☐ 到着便数
MAWB番号 - 仕分け子数
総個数 総重量 - KGM 品名
民間事故 ☐ 税関事故 ☐ STP ☐ 蔵置日数
社用品 ☐ 輸入申告許可 ☐
到着便情報
予備 ☐ 到着日時 - : 到着便名 NRT 共同運航 ☐ 国籍
AWB入力者 () AWB個数 AWB重量 - KGM
PKG入力者 PKG個数 PKG重量 - KGM 蔵置場所
突合済 ☐ CAI保留 ☐ 税関訂正 ☐
空港蔵置場搬入日時 - : 突
貨物種別 加算個数 搬入予定 ☐
運送種別 ☐ ULD ☐ 運送中 ☐ 代理店

IAW業務

到着便情報
予備 ☐ 到着日時 - : 到着便名 NRT 共同運航 ☐
AWB入力者 () AWB個数 AWB重量 - KGM
PKG入力者 PKG個数 PKG重量 - KGM
突合済 ☒ CAI保留 ☐ 税関訂正 ☐ システム外 ☐ 輸出移送済 ☐ U
空港蔵置場搬入日時 - : 突合日時 -
貨物種別 加算個数 搬入予定 ☐ 仕向地
運送種別 ☐ 運送中 ☐ 代理店

CPK業務

到着便名* 保税蔵置場
ULD収容 ☐ 差日数
AWB番号 - U ☐ 個数 重量 - SPC ☐ 訂正理由
2 - ☐ - ☐

突合

正しい個数、重量を入力する

MST:入力ミス
MSC:ミスカウント

空白=不突合を意味する

貨物確認情報訂正について

CPK(貨物確認情報訂正)業務 <<パターン②:削除>> ACH業務登録前であれば、削除可能です。

AWBやMAWB番号を誤入力した場合は、一旦削除します。

IAW業務

AWB番号※ 222 - 12345675 次指定情報 ▼ 詳細 ☐ 保税蔵置場 ☐

貨物識別 AWB 積込港 ☐ SPC ☐ 混載業 ☐ スプリット ☐ 到着便数 ☐

MAWB番号 - 仕分け子数 0

総個数 0 総重量 0.0 - KGM 品名

民間事故 ☐ 税関事故 ☐ STP ☐ 蔵置日数

社用品 ☐ 輸入申告許可 ☐

到着便情報

予備 ☐ 到着日時 / - : 到着便名 Z70002 / 01SEP NRT 共同運航 ☐ 国籍 ☐

AWB入力者 () AWB個数 0 AWB重量 0.0 - KGM

PKG入力者 J1AB2 PKG個数 10 PKG重量 100.0 - KGM 蔵置場所 1AAB2

突合済 ☐ CAI保留 ☐ 税関訂正 ☐ システム外 ☐ 輸出移送済 ☐ UDA ☐

空港蔵置場搬入日時 / : 突合日時 / - :

貨物種別 ☐ 加算個数 0 搬入予定 ☐

運送種別 ☐ ULD ☐ 運送中 ☐ 代理店

IAW業務

AWB番号※ 222 - 12345675

指定情報 ▼

詳細種別

保税蔵置場

業務メッセージ

コード	内容	処置
E0002	入力されたAWB番号はシステムに登録されていない。	AWB番号を確認する。

削除完了

AWB個数/重量が登録されていないことを確認する

CPK業務

到着便名※ Z70002 / 01SEP 保税蔵置場

ULD収容 ☐ 差日数

AWB番号 U 個数 重量 SPC 訂正理由

1 222 - 12345675 ☐ ☐ - ☐ ☐ MST

MST:入力ミス

貨物確認情報訂正について

CPK(貨物確認情報訂正)業務 《パターン③:追加》

EPK業務実施済みの場合は、PKG業務で貨物確認情報を追加できないため、CPK業務で追加登録します。

IMF11業務

照会区分 到着便名 A W B 情報入力者 A W B 情報終了登録年月日・時刻

取卸保税蔵置場 貨物確認情報終了登録年月日・時刻

1

IMF11にて、EPK済みであることを確認します

IAW業務

A W B 番号* 次指定情報 詳細

貨物識別 積込港 S P C 混載業 スプリット 到着便

MA W B 番号 仕分け子数

総個数 総重量

民間事故 税関事故 S T P

社用品 輸入申告許可

到着便情報

予備 到着日時 到着便名 共同運航

A W B 入力者 () A W B 個数 A W B 重量

P K G 入力者 P K G 個数 P K G 重量

突合

到着便情報

予備 到着日時 到着便名 共同運航

A W B 入力者 () A W B 個数 A W B 重量

P K G 入力者 P K G 個数 P K G 重量

突合済 C A I 保留 税関訂正 システム外 輸出移送済

空港蔵置場搬入日時 突合日時

IAW業務

A W B 番号* 次指定情報 詳細

貨物識別 積込港 S P C 混載業 スプリット 到着便

MA W B 番号 仕分け子数

総個数 総重量

民間事故 税関事故 S T P

社用品 輸入申告許可

到着便情報

予備 到着日時 到着便名 共同運航

A W B 入力者 () A W B 個数 A W B 重量

P K G 入力者 P K G 個数 P K G 重量

CPK業務

到着便名* 保税蔵置場

U L D 収容 差日数

A W B 番号 U 個数 重量 S P C 訂正理由

1

MST:入力ミス

EAW業務が実施されている場合でも、CPK業務での追加登録が可能です。
その場合も航空会社にてAWB情報が登録されていることが条件となります。

輸入貨物情報変更登録について



CAI(輸入貨物情報変更登録呼出し)業務及びCAI01(輸入貨物情報変更登録)業務

- 突合後、AWB情報訂正が必要となった場合に実施する業務です。
- CAI業務でAWB入力後、訂正画面(CAI01業務)に展開します。

CAI業務の入力画面

AWB番号※ -

到着空港

CAI01業務実施後に訂正保留となった場合、税関への「NACCS登録情報変更申出」の提出が必要ですが、HYS(汎用申請)業務を利用できます。

CAI業務実施後は、IAW(輸入貨物情報照会)業務のCAI保留欄を確認しましょう。

CAI01業務の入力画面

AWB番号※ - 到着空港

品名 仕出地 総個数 総重量 SPC ☐ 社用品 ☐

荷送人

荷送人住所 荷送人電話番号

荷受人 -

荷受人住所 荷受人電話番号

訂正理由
MST:個数以外の項目を訂正する場合
SHT:個数を減らす場合
OVR:個数を増やす場合

訂正理由

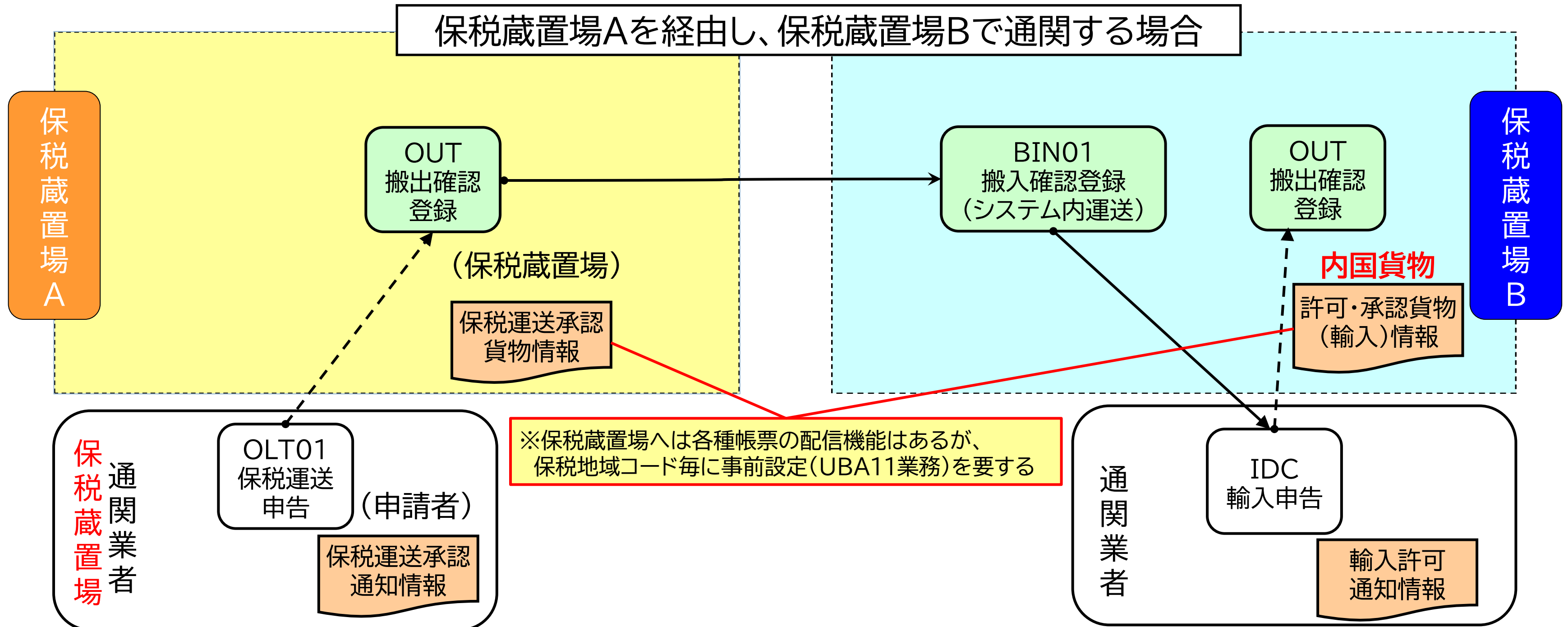
到着便名 到着年月日 搬入年月日 個数 重量 蔵置場 仕向地 種別 U 突合

01 / ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐

輸入貨物の搬出入について

搬出確認登録及び搬入確認登録

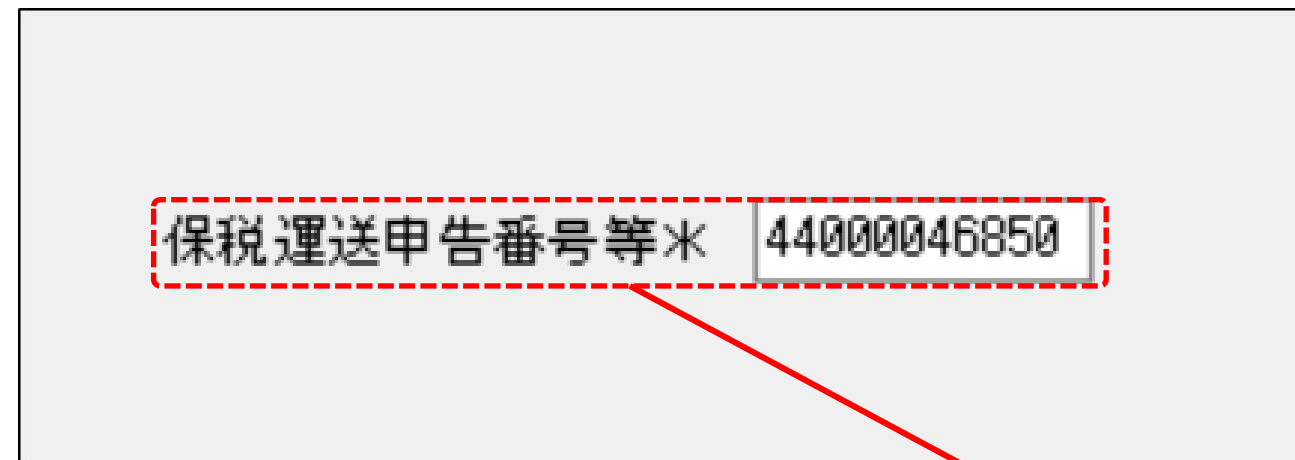
- ・ OUT業務で保税蔵置場から搬出された旨を登録します。
- ・ BIN業務でシステム内保税蔵置場から保税運送された貨物が搬入された旨を登録します。



BIN(搬入確認登録(システム対象内保税運送)呼出し)業務

システム対象内保税蔵置場から保税運送申告等、または貨物移動情報の登録がされた保税運送情報と呼び出します。

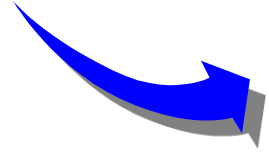
BIN業務の入力画面



保税運送申告番号等* 44000046850

搬入確認を行う対象貨物の保税運送申告番号を入力

入力後送信すると、次のBIN01業務画面へ展開



BIN01業務へ

BIN01(搬入確認登録(システム対象内保税運送))業務

システム対象内保税蔵置場から保税運送申告等、または貨物移動情報の登録がされた保税運送貨物の搬入確認を行います。

BIN01業務の入力画面(BIN業務からの呼出し)

保税運送申告番号等*

44000046850

搬入開始年月日・時刻*

2023/04/24 - 09:00

搬入終了年月日・時刻*

2023/04/24 - 09:20

無料期間適用表示

☐

保管料の無料期間を適用する場合は、航空会社コードを入力

AWB番号
ロケーション

到着個数

SPC

事故
M

01 NAC - 605545

DEF, 50

搬入確認を行うAWB番号であるかを確認

発送個数と到着個数が異なる場合のみ到着個数を入力
(貨物事故としての処理が必要となる)

事故コードの入力方法は、18ページのPKG業務を参照。
事故がある場合、搬入状況通知情報(AAS0110)が税関と
入力者に配信される。

(SAMPLE)
搬入状況通知情報 1 / 1

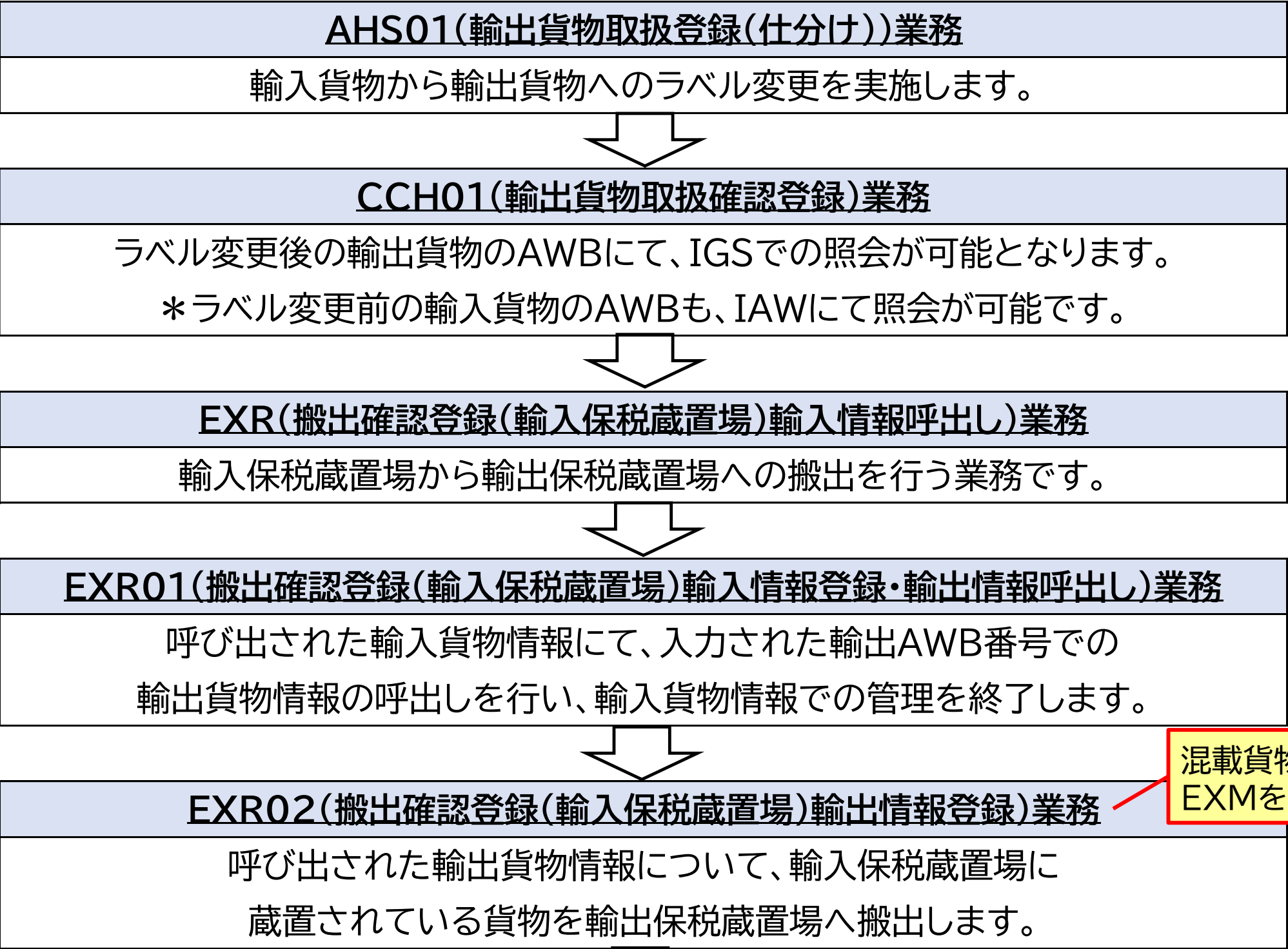
BOND IN STATUS INFORMATION

UNMC *	PRID	DAMG			() : J1AB2	
OLT NO.	14000441440	DATE	2022. 04. 07- 17:47	PRID	2022. 04. 07 / 2022. 04. 14	
FLT NO.	/	MAWB NO.		FROM	1MHR5	
PLACE	1AAB2	IN FROM	2022. 04. 07- 17:30	TO	2022. 04. 07- 18:00	
AWB NO.	(AFTER)	PCS	APCS	WEIGHT	COMMODITY	
	(BEFORE)				STATUS SPC	
888 50841711		100	10	100.0	LADIES DRESSES	

輸入貨物を輸出貨物として積戻す(RE-SHIP)場合のフロー



<一般的な業務の流れ>



混載貨物の場合(HDF01登録済)であれば、EXMを利用したの搬出も可

※積戻し貨物の場合は、
積戻し許可済または
保税運送承認済であり、
訂正中でないこと。

以降、通常の後続業務へ

貨物取扱業務について (輸出・輸入)

蔵置中の保税貨物に行う各種業務一覧(輸出)

AHS 輸出貨物取扱登録(仕分け)	保税蔵置場等に蔵置されている輸出貨物(積戻し貨物含む)について、関税法第40条第1項に基づく「改装」及び「仕分け」を行う場合に登録する。取消しを行う場合はAHC(輸出貨物扱取消)業務で行う。
AHT 輸出貨物取扱登録(仕合せ)	保税蔵置場等に蔵置されている輸出貨物(積戻し貨物含む)について、関税法第40条第1項に基づく「仕合せ」を行う場合に登録する。取消しを行う場合はAHC(輸出貨物扱取消)業務で行う。
CCH 輸出貨物取扱確認登録	AHS(輸出貨物取扱登録(仕分け))業務またはAHT(輸出貨物取扱登録(仕合せ))業務の入力者が保税蔵置場で仕分け・仕合せ作業等を行った場合に、保税蔵置場により、その取扱いを確認した旨を登録する。
AHC 輸出貨物取扱取消	通関業等により行われたAHS業務またはAHT業務を取り消す場合に行う。
AHN 輸出貨物取扱登録(内容点検)	保税蔵置場等に蔵置されている貨物について、関税法第40条第1項に基づく「内容点検」及び「その他の手入れ」を行う場合に登録する。本業務による取消しは税関または保税蔵置場がAHN01業務から行う。
AHU 輸出貨物情報仕分け登録	情報仕分けの対象となる輸出貨物情報を呼出し、搬入単位の分割を行う。 訂正、削除の場合は、再度、本業務またはAHV(輸出貨物情報仕合せ登録)業務を行う。
AHV 輸出貨物情報仕合せ登録	保税蔵置場に蔵置されている貨物について、搬入単位と異なる単位でEDC業務を行う場合に、搬入単位の統合を行う。訂正、削除の場合は、再度、本業務またはAHU(輸出貨物情報仕分け登録)業務を行う。

蔵置中の保税貨物に行う各種業務一覧(輸入)

CHS 貨物取扱登録(改装・仕分け)	保税地域に蔵置されている貨物に対して、関税法第40条第1項に基づく改装・仕分け、またはスプリット情報仕分けを行う。 本業務を行った場合は、取扱保税蔵置場の管理者によりCFS(貨物取扱確認登録(改装・仕分))業務が必要となる。 また、本業務で登録した情報の取消しは、取扱保税蔵置場の管理者が本業務で取消しを行うことができる。
CFS 貨物取扱確認登録(改装・仕分け)	CHS(貨物取扱登録(改装・仕分))業務により改装・仕分けまたはスプリット情報仕分けされた貨物の取扱確認を行う。 また、CHS業務により仕分けた件数の変更を行う。
CHN 貨物取扱登録(内容点検)	保税地域に蔵置されている貨物について、関税法第40条第1項に基づく「内容点検」「その他の手入れ」を行う場合に、本業務により必要事項を登録する。
CHC 貨物取扱取消(内容点検)	CHN業務で行った登録の取消しを行う。
CHT 貨物取扱登録(特殊貨物)	※蔵置料金計算を行う保税蔵置場が利用する業務となる。 エサの供給、運動等を必要とする動物またはドライアイスの供給が必要な要冷蔵貨物についての取扱作業を通関業等から依頼されている場合に登録を行う。 また、本業務で登録済の取扱情報の取消しを行う。

蔵置中の保税貨物に行う各種業務一覧(輸出入共通)



AHD 貨物取扱許可申請	保税蔵置場等に蔵置されている貨物について、関税法第40条第2項に基づく「見本の展示」、「簡単な加工」及び「その他これらに類する行為」を行う場合は、本業務により貨物取扱許可申請を行う。
AHI 貨物取扱結果通知(貨物取扱許可申請)	AHD業務で登録された取扱いについて、取扱いが終了した旨を通知する。
AHH 貨物取扱許可申請取消	システムにより行われた貨物取扱許可申請の取消し、または許可の取消しを行う。
MMA 見本持出許可申請	関税法第32条に基づく貨物情報が登録されている貨物を見本として一部持出す場合に申請する。 関税法基本通達32-3に規定する包括許可に係る申請はMMA業務の対象外であり、マニュアルによる申請を行う。 見本持出申請を行った場合、簡易審査扱い(区分1)の場合は即時に、また、書類審査扱い(区分2)の場合は、税関によるMME(見本持出審査終了)業務により、見本持出許可通知情報が配信される。
MMO 見本持出確認登録	MMA業務にて許可となった見本を保税地域等から一時持出した場合は、MMO業務にてその旨を登録する。MMA業務による持出期間終了日の2日後に情報が削除されるため、以降はMMO業務が実施できなくなる点に留意する。 本業務は任意業務であるが、管理統計資料「貨物取扱等一覧データ」の一時持出年月日に出力する必要がある場合、必須業務となる。MMO業務の取消しは、MMO業務で実施する。
MMC 見本持出取消	MMA業務を行った利用者が、税関の許可前にあらかじめ税関保税担当部門に申し出た後行う。 許可後の場合は、「NACCS登録情報変更願」を税関へ提出し、税関が取り消すこととなる。

主な照会業務について (輸出・輸入)

IGS(輸出貨物情報照会)業務

- AWB番号単位で、個数、重量、仕向地等の主要項目、並びに通関状況、保税蔵置場への搬出入状況、ULDへの積付け状況及び搭載状況等を照会できます。
- 指定情報を入力することにより、当該貨物の詳細情報を個別に照会できます。

IGS業務の入力画面

【必須入力】AWB番号、HAWB番号、MAWB番号、または未ラベル番号を入力

AWB番号*

NAC - 605226

指定情報



空港コード

保税蔵置場

指定情報が下記の場合は
保税蔵置場を入力
「BNDI」(搬入情報)
「BNDO」(搬出情報)
「BOND」(蔵置情報)

スペース : 概要情報
SMRY: 概要情報
ENTS: 搬入伝票情報
BNDI: 搬入情報
BNDO: 搬出情報
BOND: 蔵置情報
ALBN: 保税蔵置場情報
CUST: 税関手続情報
PORT: 空港情報
FLIT: 搭載情報
BLDU: ULD積付情報
EDNO: システム外許可・承認番号情報
KARI: 仮陸揚情報
HIST: 履歴情報

(1) 指定情報が「FLIT」(搭載情報)の場合は入力
(2) 指定情報が「KARI」(仮陸揚情報)で仮陸揚情報の
一般貨物を照会したい場合は入力

利用可能者: 税関、航空会社*、航空貨物代理店*、通関業*、混載業*、保税蔵置場*、輸出入者*

*: 照会条件有り。貨物情報の各利用者欄が登録されている場合は、その利用者と一致するか、または照会可能な利用者である旨がシステムに登録されていること。
上記に該当しない場合は、各利用者欄が登録されていない貨物情報であること。

照会結果は次頁を参照

IGS(輸出貨物情報照会)業務 <<SMRY 概要情報②>>

IGS業務 概要情報の照会結果(共通部下部)

航空会社が登録する
搭載情報を表示

便名部6桁+日付部5桁
(例:XX0002/01OCT)

貨物識別がHAWBまたは
MAWBの場合に出力
T:全量搭載完了済
P:一部搭載完了済

搭載便情報

空港コード

NRT

分割搭載件数

☐

航空会社

XX

便名

/

搭載完了年月日

/

/

搭載完了処理日時

/

/

-

:

取卸地

航空会社

マニフェスト作成済表示

☐

搭載完了表示

☐

空港コード

分割搭載件数

☐

航空会社

便名

/

搭載完了年月日

/

/

搭載完了処理日時

/

/

-

:

取卸地

航空会社

マニフェスト作成済表示

☐

搭載完了表示

☐

システム外許可・承認番号情報

件数

☐

他関E/D番号

/

/

/

AWB情報

個数

重量

積込港

仕向地

仮陸揚情報

積込港

更新情報

日時

2019/12/17

-

17:19

業務コード

EXM01

利用者コード

1AHE4

日時

2019/12/17

-

16:55

業務コード

EDC

利用者コード

1ATC5

日時

2019/12/17

-

16:43

業務コード

HDF01

利用者コード

J1FC0

日時

2019/12/17

-

15:14

業務コード

BII01

利用者コード

1AHE4

日時

2019/12/17

-

15:12

業務コード

CDB01

利用者コード

J1FC0

日時

/

/

-

:

業務コード

利用者コード

日時

/

/

-

:

業務コード

利用者コード

日時

/

/

-

:

業務コード

利用者コード

日時

/

/

-

:

業務コード

利用者コード

日時

/

/

-

:

業務コード

利用者コード

照会貨物にかかる処理状況が時系列で表示
・最新更新業務 :業務コードを表示
・最新更新利用者:利用者コードを表示

SMRYの画面では、
直近の10件まで表示。
※指定情報に「HIST」を
入力して検索すると、
過去100件分まで
照会可能。

IGS(輸出貨物情報照会)業務 <<SMRY 概要情報③>>

IGS業務 概要情報の照会結果(繰返部)

共通部 繰返部

1 / 9

*:税関確認済

繰返部

01 保税蔵置場情報

蔵置場 1HE04 棟記号 蔵置総個数 搬出可個数 搬出不可個数

バラ個数 ULD積付個数 AWB受渡書番号

搬入情報

分割搬入件数 1 枝番 00 搬入日時 2019/12/17 - 15:14 搬入個数 100 搬入重量 10000.0 KGM

事故 事故確認済表示 車上通関表示 OLT番号

搬出情報

分割搬出件数 1 枝番 01 搬出日時 2019/12/17 - 17:19 搬出個数 100 搬出重量 10000.0 KGM

LDR 0042361 搬出先 1MHR5 トラック番号 ULD積付表示

税関手続情報1

分割件数 1 枝番 00 手続者 1ATC5 手続・許可承認種別 LEA 特定輸出申告表示

E/D番号 12002133610 申告日時 2019/12/17 - 16:55 許可日時 2019/12/17 - 16:55

個数 検査表示 要搭確表示 L 許可後の手続き中表示 運送先・積込港 NRT

税関手続情報2

分割件数 枝番 手続者 手続・許可承認種別 E/D番号

手続・許可承認等日時 / / - : 個数 事故貨物 積込港

取扱終了日時 / / - : 取扱確認表示

IAW(輸入貨物情報照会)業務

- AWB番号単位で、個数、重量、仕向地等の主要項目、並びに通関状況、保税蔵置場への搬出入状況等を照会できます。
- 指定情報を入力することにより、当該貨物の詳細情報を個別に照会できます。

IAW業務の入力画面

【必須入力】AWB番号、HAWB番号、MAWB番号、ULD番号またはシステム外搬入貨物番号を入力

AWB番号＊ NAC - 665545

指定情報 ▼

詳細種別

保税蔵置場

スペース：概要情報
SMRY：概要情報
FLTI：到着便情報
BNDI：貨物搬入情報
BOND：保税蔵置場情報
BNDO：貨物搬出情報
LOC：ロケーション情報
BBM：混載仕分情報
PERM：手続諸届許可承認情報
SHIP：荷送受人情報
HIST：履歴情報

到着便情報照会[FLTI]以外の場合は入力不可
到着空港：取卸港単位照会
ST：到着時刻の昇順照会
？：到着便名不明照会

(1)ロケーション情報照会の場合は、保税蔵置場を必須入力
(2)ロケーション情報照会以外の場合は、入力不可

利用可能者：
税関、航空貨物代理店、保税蔵置場、通関業、混載業、航空会社、
機用品業、輸出入者(※)
※輸出入者の場合は、輸入申告済の貨物で、且つ申告した輸入者コードと
利用者コードに設定した輸入者コードが同一であること

照会結果は次頁を参照

IAW(輸入貨物情報照会)業務 <<SHIP(荷送受人情報)及びHIST(履歴情報)を除く共通項目>>

AWB :AWB番号
HAWB :HAWB番号
MAWB :MAWB番号
ULD :ULD番号
OTHER:(システム外搬入貨物)

S:スプリット
F:スプリットフル(全量到着済み)

IAW業務 照会結果(上部)

AWB番号*	NAC	-	665545	次指定情報		▼	詳細		保税蔵置場	
貨物識別	HAWB	積込港	SHA	SPC			混載業	J1FC0	スプリット	
MAWB番号	888	-	50841711	仕分け子数	0					
総個数	10	総重量	100.0	-KGM	品名	TEA				
民間事故		税関事故		STP			蔵置日数			
社用品		輸入申告許可								

民間事故コードを出力

社用品の登録がされている場合は、「V」を出力

D:輸入申告等の申告・申請中
P:輸入申告等の許可承認
M:マニュアル許可承認

税関届出事故コードを出力
(税関が確認済の場合は、1桁目に「*」を出力)

移動差止の旨が登録されている場合は、「*」を出力、
STP登録者である担当税関利用者コードを出力

IAW(輸入貨物情報照会)業務 <<SMRY 概要情報①>>
AWB番号等の単位で、概要情報の照会をする事ができます。

IAW業務 照会結果(中部)

到着便情報

予備 ☐ 到着日時 2019/12/18 - 10:00 到着便名 Z60002 / 18DEC NRT 共同運航 ☐ 国籍 ☐

AWB入力者 J1FC0 () AWB个数 10 AWB重量 100.0 - KGM

PKG入力者 1AHE5 PKG个数 10 PKG重量 100.0 - KGM 蔵置場所 1HE05

突合済 1 CAI保留 ☐ 税関訂正 ☐ システム外 ☐ 輸出移送済 ☐ UDA ☐

空港蔵置場搬入日時 2019/12/18 - 10:00 突合日時 2019/12/18 - 11:17

貨物種別 CO 加算个数 10 搬入予定 ☐ 仕向地 NRT

運送種別 ☐ UL D ☐ 運送中 ☐ 代理店 ☐

貨物移動情報

到着日時 2019/12/18 - 10:00 空港蔵置場搬入日時 2019/12/18 - 10:00

その他蔵置場搬入日時 / / - : 現在蔵置場所 1HE05 个数 ☐

搬出日時 / / - : 蔵置日数 ☐

ロケーション EFG, 10

1:突合済
2:訂正保留のもの
3:原因調査中のもの

*:CAI輸入貨物情報
DBに保留の旨が
登録されたもの

*:輸入貨物情報DBの到着便情報にAWB予備情報の旨が
登録されている場合は、「*」を出力

1:仮陸揚貨物で、輸入貨物情報ファイルに未突合
又は不突合で輸出へ移送された場合
2:仮陸揚貨物で、輸入貨物情報ファイルに突合済で
輸出へ移送された場合

*:税関によりCAI業務が行われたもの

T : 運送中
* : 搬入済
スペース: 蔵置中

K:マル仮、仮・仮貨物
T:TACM貨物
H:他空港向一括保税運送仮陸貨物
M:機移し貨物

CO:当該空港揚貨物
TR:仮陸揚貨物
TI:マル仮貨物
TT:仮・仮貨物
TS:機移し貨物

IAW(輸入貨物情報照会)業務 ≪SMRY 概要情報②≫

IAW業務 照会結果(下部)

輸入申告情報

申告種別

IC

申告者

JITC1

申告番号

10000551140

申告税関

IM

申告日時

2022/04/07 - 19:41

BP承認日時

/ / - : 審

許可日時

2022/04/07 - 19:41

申告状態

N

税関手続情報

識別

手続許可承認種別

手続者

許可承認番号

税関官署

手続日時

/ / - :

取扱開始日時

/ / - :

取扱終了日時

/ / - :

承認日時

/ / - :

取扱確認日時

/ / - :

保税運送審査終了日時

/ / - :

保税蔵置場

更新情報

直近

日時

2022/04/07 - 19:41

業務コード

IDC

利用者コード

JITC1

日時

2022/04/07 - 19:40

業務コード

PKG

利用者コード

J1HC1

過去

日時

2022/04/07 - 19:39

業務コード

ACH

利用者コード

J1AB0

業務コード

利用者コード

- IC : 輸入申告(申告納税)

BP : BP承認申請

IM : 移入承認申請

IG : 展示等申告

IMW: 移出輸入申告(申告納税)

HK : 輸入(引取)申告

HT : 輸入(引取・特例)申告

TK : 特例申告

IT : 一括特例申告
- FC : 輸入申告(少額関税無税)

IS : 蔵入承認申請

IA : 総保入承認申請

ISW: 蔵出輸入申告(申告納税)

IAC : 総保出輸入申告

HKA: 特例委託輸入(引取)申告

HTA : 特例委託輸入(引取・特例)申告

TKA : 特例委託特例申告

ITA : 特例委託一括特例申告 etc

- U: 予備申告(税関空港で貨物引取本申告自動起動)
- S: 予備申告(空港貨物の集積場所で貨物引取本申告自動起動)
- Z: 予備申告(貨物搬入時本申告自動起動)
- T: 予備申告(本申告手動起動)
- J: 予備申告(貨物到着前自動起動)
- H: 予備申告後等の本申告
- N: 通常申告及び申告変更

照会貨物にかかる処理状況が時系列で表示

- ・最新更新業務 : 業務コードを表示
- ・最新更新利用者 : 利用者コードを表示

- D: KAM業務での同一許可内運送
- S: KAM業務での総合保税地域内運送
- A: 特定保税運送
- H: 包括保税運送に係る個別運送がある場合

SMRYの画面では、直近の10件まで表示。

※指定情報に「HIST」を入力して検索すると、過去100件分まで照会可能。

IAW(輸入貨物情報照会)業務 <<FLTI 到着便情報>>
AWB番号等の単位で、到着便の情報を照会することができます。

IAW業務 照会結果(到着便情報)

AWB番号※

次指定情報

詳細☐

保税蔵置場

貨物識別

積込港

SPC☐

混載業

スプリット☐

到着便数

MAWB番号

仕分け子数

総個数

総重量

-KGM

品名

蔵置日数

1 予備☐

到着日時

到着便名

到着空港

共同運航☐

国籍

AWB入力者

()

AWB個数

AWB重量

-KGM

PKG入力者

PKG個数

PKG重量

-KGM

蔵置場所

突合済☐

CAI保留☐

税関訂正☐

システム外☐

輸出移送済☐

UDA☐

空港蔵置場搬入日時

突合日時

貨物種別

加算個数

搬入予定☐

仕向地

運送種別☐

ULD☐

AWB番号等の到着便情報を以下の順で表示する。
①AWB情報を最初に登録されたものから昇順。
②積荷目録事前報告情報またはAWB予備情報を最初に登録されたものから昇順。
なお、到着便名が同一の場合は、下位の到着便情報は出力しない。

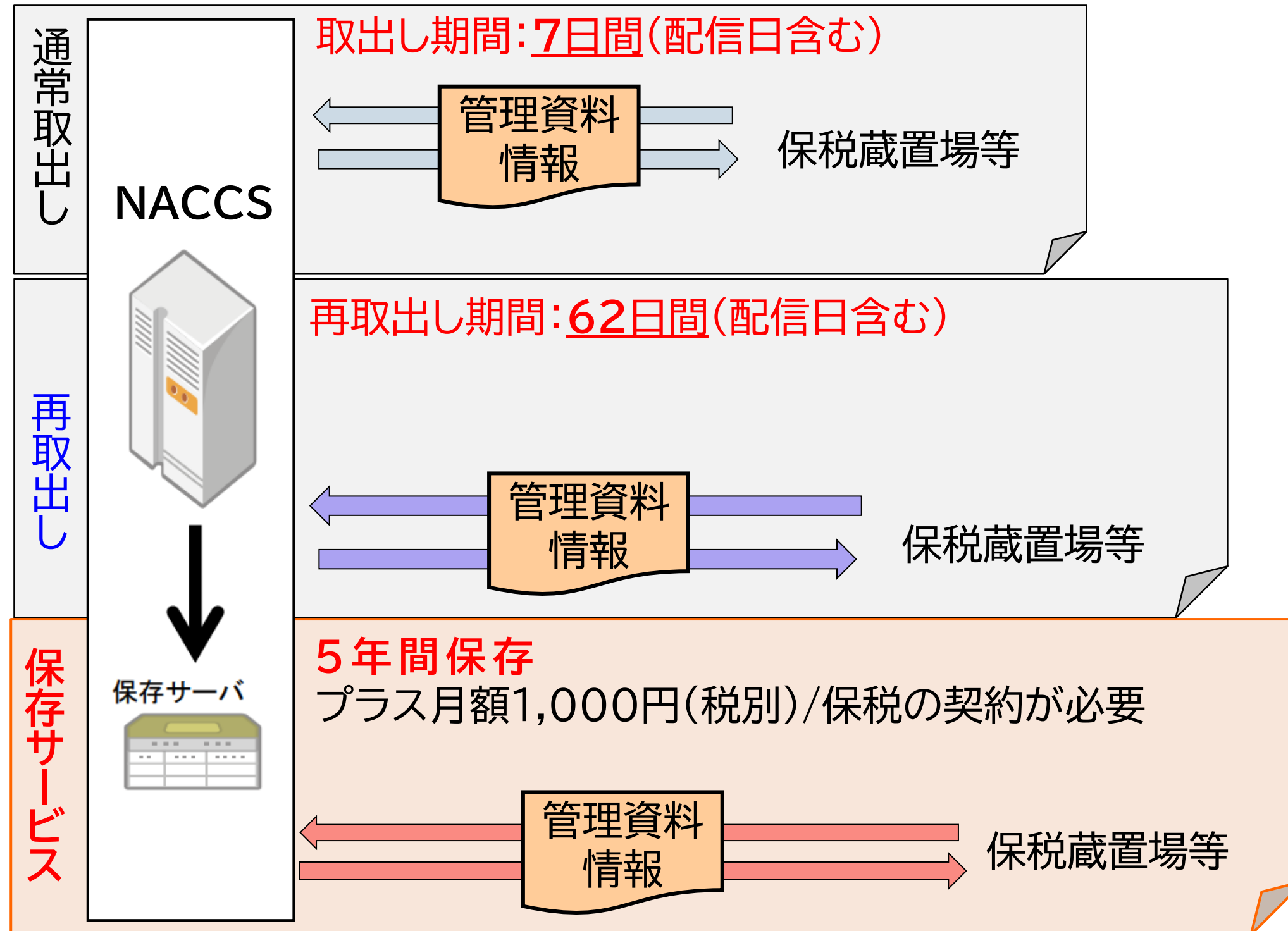
NACCSに登録されている有効な到着便情報の数を入力。
(マル仮、仮・仮または機移し貨物の到着便情報を除く)

S:スプリット
F:スプリットフル(全量到着済み)

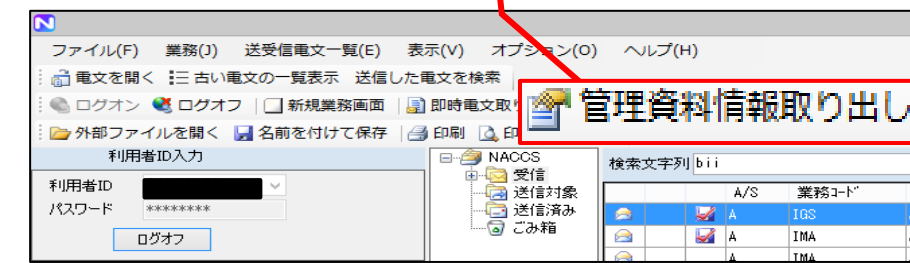
詳細種別に入力がある場合は、以下の処理をあわせて行う。
①詳細種別に到着空港の入力がある場合は、入力された取卸港の到着便情報を抽出する。
②詳細種別に「ST」の入力がある場合は、到着時刻の昇順に到着便情報を抽出する。
なお、到着時刻が登録されていない到着便情報は、ACH業務等を実施した時刻を到着時刻とみなして抽出する。
③詳細種別に「？」の入力がある場合は、到着便名不明の到着便情報を抽出する。

管理統計資料

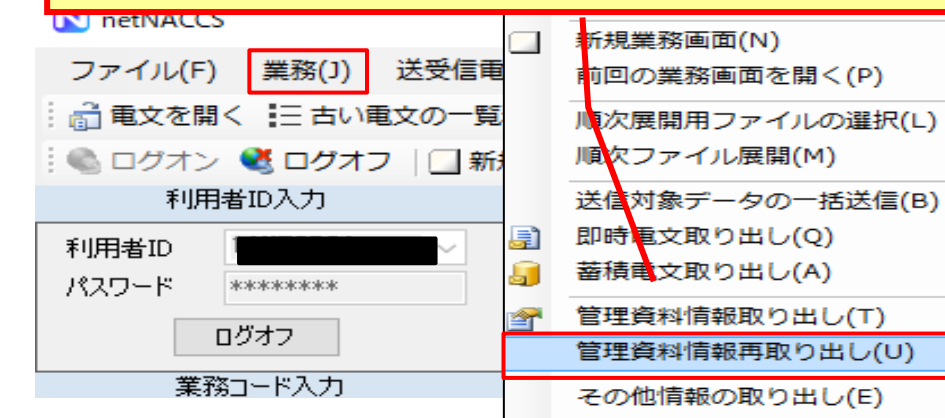
管理統計資料について



管理資料取り出しボタンから取得



「業務」→「管理資料情報再取り出し」から取得



DLH01 (保税管理資料再出力依頼情報登録・変更) 業務による取出要求

管理資料の取得漏れは保税台帳の未記帳になる場合があります。上記期間に取得漏れがないよう管理が必要です。

管理統計資料について

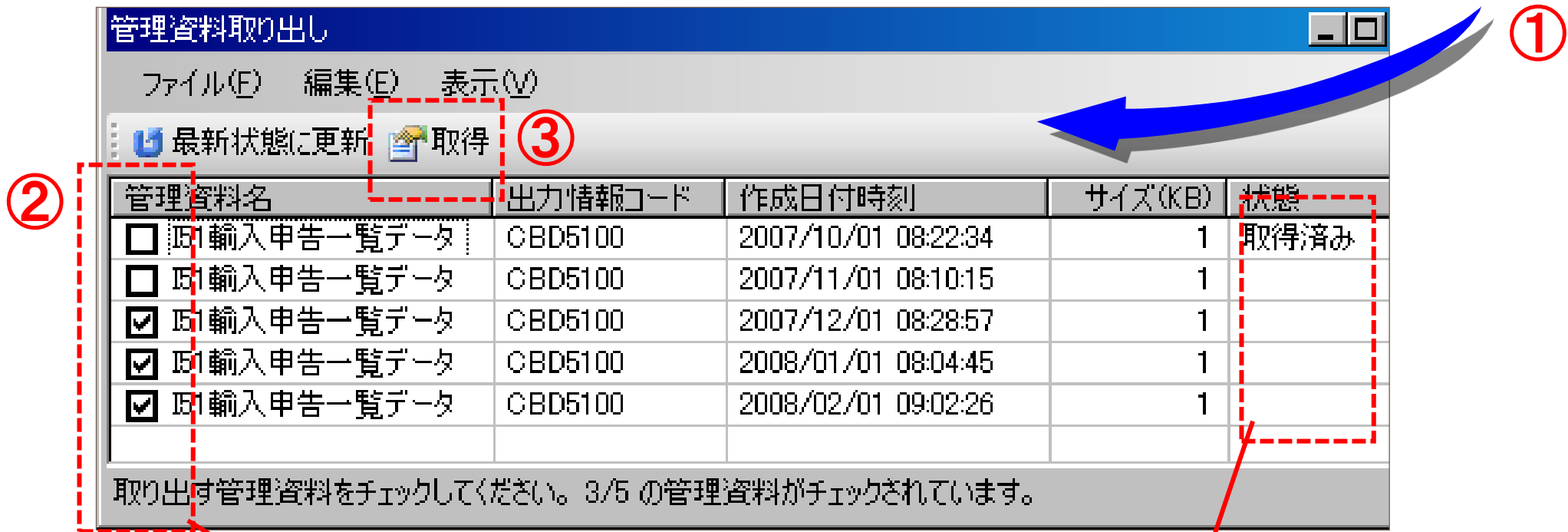
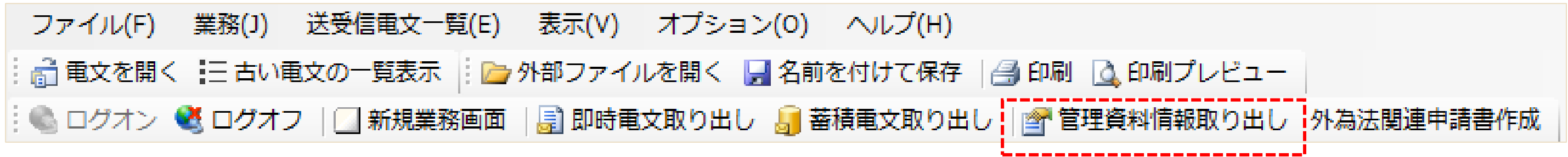
保税台帳として取扱うことができる管理資料(保存サービスの対象)

海上	番号	管理資料情報名	出力コード	周期	
	G01	輸入貨物搬出入データ	SBS1400	週報	月曜
	G02	輸出貨物搬出入データ	SBT0200	週報	火曜
航空	G05	貨物取扱等一覧データ	SBS1700	週報	火曜
	T19	航空輸入貨物搬出入データ	ABS6900	日報	
	T20	航空輸入貨物取扱等一覧データ	ABS7000	日報	
	S13	航空輸出貨物取扱等一覧データ	ABT6300	日報	
	S14	航空輸出貨物搬出入データ	ABT6400	日報	

作成日						配信年月日、時刻	
名前						更新日時	
	G01輸入貨物搬出入データ	9080114_1AHB4_20080115	072453	csv		2015/11/09	16:17
	G01輸入貨物搬出入データ	9080121_1AHB4_20080122	070928	csv		2015/11/09	16:17
	G01輸入貨物搬出入データ	9080128_1AHB4_20080129	073304	csv		2015/11/09	16:17
	G02輸出貨物搬出入データ	9080114_1AHB4_20080115	072453	csv		2015/11/09	16:17
	G02輸出貨物搬出入データ	9080121_1AHB4_20080122	070928	csv		2015/11/09	16:17
	G02輸出貨物搬出入データ	9080128_1AHB4_20080129	073304	csv		2015/11/09	16:17

取得漏れを防ぐためにファイル名の「作成日」を確認しましょう。
海上は週報での配信のため、作成日は1週間おきです。
航空は日報での配信のため、作成日は連続した日付です。

管理統計資料の取出し

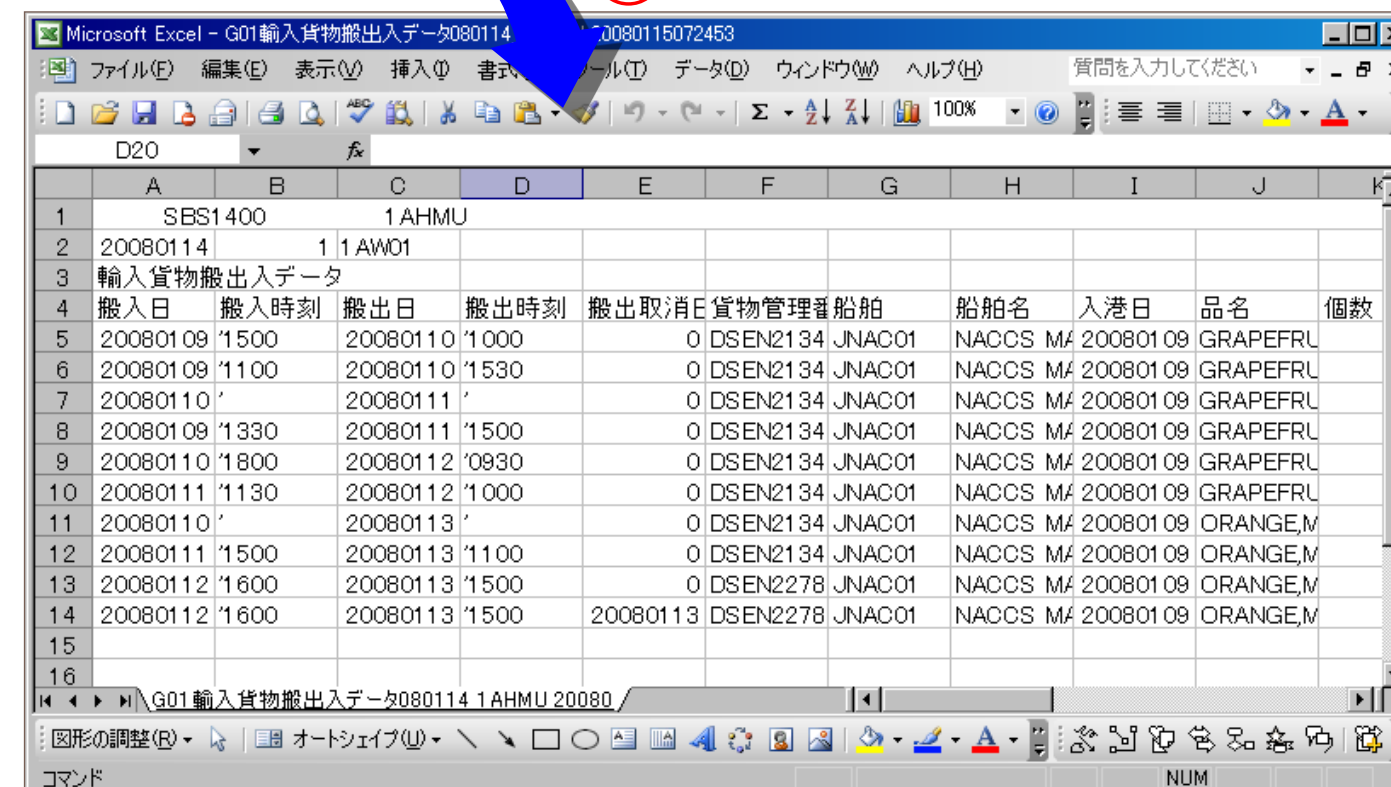
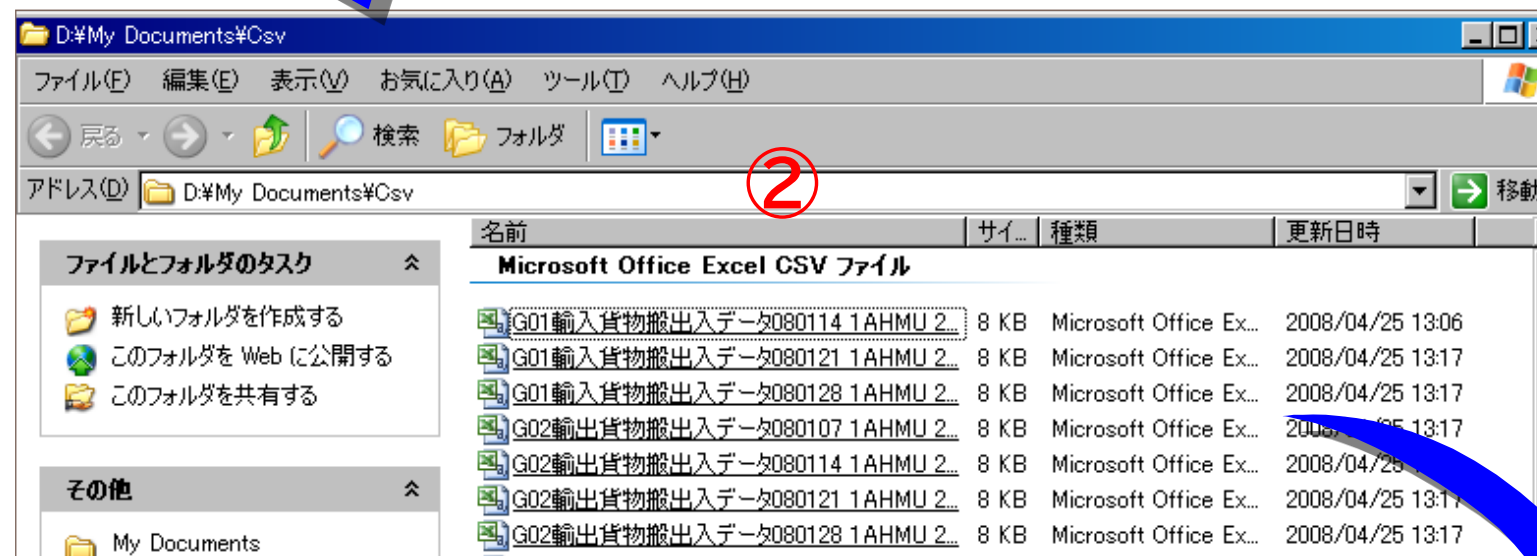
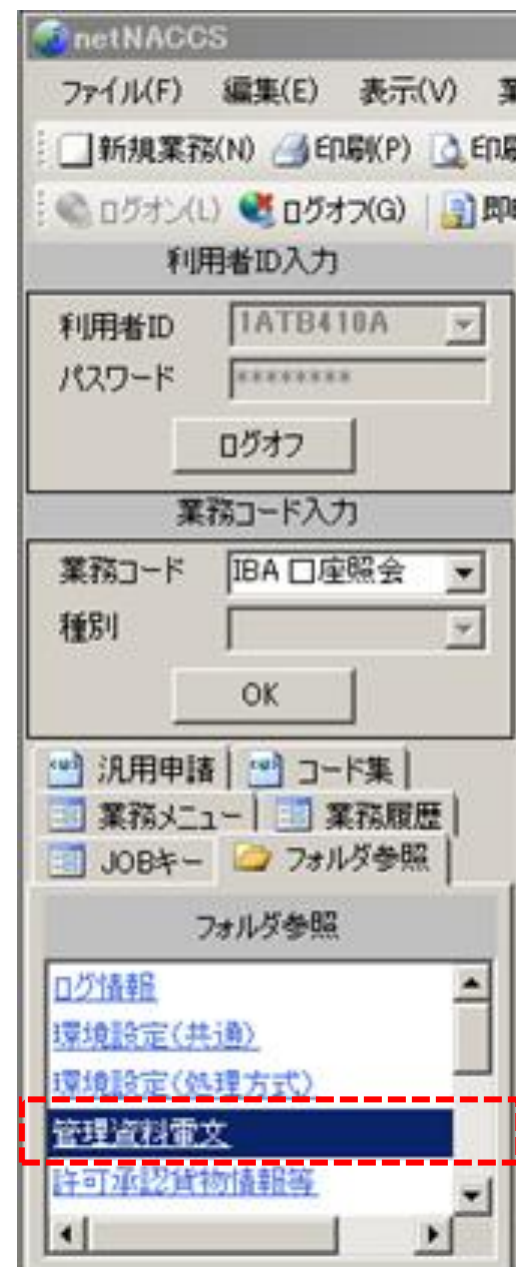


- ① パッケージソフトの上部メニューから管理資料取り出しをクリックします。
- ② 取出、または再取出したい管理資料を☑選択します。
- ③ 「取得」ボタンをクリックします。

• 取出したい管理資料をチェック
• まとめてチェックしたい場合は、右クリックしサブメニューを利用

取出後は「状態」欄が「取得済み」に変更

管理統計資料の展開



搬入日	搬入時刻	搬出日	搬出時刻	搬出取消	貨物管理番号	船舶	船舶名	入港日	品名	個数
20080109	1500	20080110	1000	0	DSN2134	JNAC01	NACCS MA	20080109	GRAPEFRU	
20080109	1100	20080110	1530	0	DSN2134	JNAC01	NACCS MA	20080109	GRAPEFRU	
20080110		20080111		0	DSN2134	JNAC01	NACCS MA	20080109	GRAPEFRU	
20080109	1330	20080111	1500	0	DSN2134	JNAC01	NACCS MA	20080109	GRAPEFRU	
20080110	1800	20080112	0930	0	DSN2134	JNAC01	NACCS MA	20080109	GRAPEFRU	
20080111	1130	20080112	1000	0	DSN2134	JNAC01	NACCS MA	20080109	GRAPEFRU	
20080110		20080113		0	DSN2134	JNAC01	NACCS MA	20080109	ORANGE,M	
20080111	1500	20080113	1100	0	DSN2134	JNAC01	NACCS MA	20080109	ORANGE,M	
20080112	1600	20080113	1500	0	DSN2278	JNAC01	NACCS MA	20080109	ORANGE,M	
20080112	1600	20080113	1500	20080113	DSN2278	JNAC01	NACCS MA	20080109	ORANGE,M	

- ① 「フォルダ参照」タブの「管理資料電文」をクリックします。
- ② 管理資料電文が保存されているフォルダが開きます。開きたいファイルをダブルクリックし展開します。
- ③ 管理資料電文を表計算ソフトで開きます。(画面はMicrosoft社のMS-Excelで展開したもの)

(1)NACCSの管理資料を活用した保税台帳

特定の期間中に保税蔵置場より全量搬出のあった輸出入貨物の搬出入データ、貨物取扱及び見本持出のデータを保税蔵置場単位に蓄積し、管理資料(CSV形式)として毎週特定の曜日に提供しています。

注意点

- ・マニュアル処理された場合、従来どおり別途保税台帳に記帳する必要があります。
- ・電磁的記録により保税台帳を保存する場合、事前に税関への届出が必要となります。
具体的な取扱は管轄税関の保税部門にご確認ください。

(2)保税管理資料保存サービス

保税管理資料データの取出し期間(保存期間)を5年間(通常は62日間)とするサービス「保税管理資料保存サービス」を提供しています。

ご利用にはあらかじめ利用契約の変更手続きが必要となります(ご利用料金:1利用者コード毎に月額1,000円)

管理統計資料の活用(保税台帳の作成について)

海上 管理資料情報名

【G01 輸入貨物搬出入データ】

前週中に保税地域より搬出のあった輸入貨物の搬出入データを保税地域単位に出力します。

なお、搬出取消しのあった輸入貨物のデータも出力します。

【G02 輸出貨物搬出入データ】

前週中に保税地域より搬出(船積み含む。以下同様)のあった輸出貨物の搬出入データを保税地域単位に出力します。

なお、搬出取消しのあった輸出貨物のデータも出力します。

【G05 貨物取扱等一覧データ】

前週中に貨物取扱登録、貨物取扱許可された貨物の取扱等一覧データを保税地域単位に出力します。

また、見本持出許可申請または見本持出確認登録が行われた貨物においては、一定期間経過後に保税地域単位に出力します。

航空 管理資料情報名

【S13 航空輸出貨物取扱等一覧データ】

前日中に貨物取扱登録(仕分け及び仕合せの場合を除く)、貨物取扱許可された輸出貨物の取扱等一覧データを保税蔵置場単位に出力します。

また、見本持出許可申請または見本持出確認登録が行われた貨物においては、一定期間経過後に保税蔵置場単位に出力します。

【S14 航空輸出貨物搬出入データ一覧】

前日中に保税蔵置場より搬出入のあった輸出貨物のデータを保税蔵置場単位に出力します。

なお、搬出取消しや訂正のあった輸出貨物のデータも出力します。

【T19 航空輸入貨物搬出入データ一覧】

前日中に保税蔵置場より搬出入のあった輸入貨物のデータを保税蔵置場単位に出力します。

なお、搬出取消しや訂正のあった輸入貨物のデータも出力します。

【T20 航空輸入貨物取扱等一覧データ】

前日中に貨物取扱登録(改装・仕分けの場合を除く)、貨物取扱許可された輸入貨物の取扱等一覧データを保税蔵置場単位に出力します。

また、見本持出許可申請または見本持出確認登録が行われた貨物においては、一定期間経過後に保税蔵置場単位に出力します。

対象管理資料を5年間保存

- ・対象管理資料を5年間保存します。
- ・管理資料再出力依頼(DLH01)業務の利用により、必要な時に対象管理資料の再取り出しが可能です。

BCP対策

- ・管理資料は災害に強い高品質なデータセンターに設置されたサーバー(NACCS)で保管され、バックアップとして安心してお預けいただけます。

コスト削減・低価格

- ・対象管理資料を5年間保存し保税管理資料保存サービスの利用料金は、「月額 1,000円(税抜)」です。
- ・弊社のデータセンターを利用する為、自社システムを構築するよりも、運用コストを抑えることが可能と考えられます。

サービス対象管理資料

	業務仕様書番号	管理資料名	出力情報コード	周期	備考
1	T19	航空輸入貨物搬出入データ(航空)	ABS6900	日報	
2	T20	航空輸入貨物取扱等一覧データ(航空)	ABS7000	日報	
3	S13	航空輸出貨物取扱等一覧データ(航空)	ABT6300	日報	
4	S14	航空輸出貨物搬出入データ(航空)	ABT6400	日報	
5	G01	輸入貨物搬出入データ(海上)	SBS1400	週報	月曜日配信
6	G05	貨物取扱等一覧データ(海上)	SBS1700	週報	火曜日配信
7	G08	輸入貨物コンテナ関連データ(海上)	SBS1800	週報	月曜日配信
8	G02	輸出貨物搬出入データ(海上)	SBT0200	週報	火曜日配信
9	G09	輸出貨物コンテナ関連データ(海上)	SBT0500	週報	火曜日配信

※利用可能業種:CY、保税蔵置場、航空会社、機用品業
※サービスの利用料金は、1利用者コード毎に月額1,000円(税抜)です。
※DLH01業務の従量料金は、4円(プランA)又は5円(プランB)です。

お申込み方法

・利用申込の入力例(変更申込) | 「14. 保税管理資料保存サービスの変更」をご参照のうえ、NSS(NACCSサポートシステム)よりお申込みください。

NACCS 掲示板

TOPNACCSのご利用方法

申込手続 (NSS)

NACCS業務仕様・関連資料

よくある問合せ

お問い合わせ

サイトマップ

人・物・国をつなぐ

「総合的物流情報プラットフォームシステム」としてのNACCSを通じて、国際物流の発展に貢献します。

第7次NACCS

お問合せWebフォームはこちら

リアルタイム口座申込み

マルチペイメント (MPN) 利用方法

NACCSサポートシステム

<NACCS 利用申込等の電子申請>

端末入替方法

端末を新しく入替えられる方

稼働時間 <24時間>(計画停止を除く) 14:00 現在 / 正常運転中

NACCS 運転状況メール 配信サービス

新着情報

航空

海上

共用

税関

関係省庁

検疫所 食品

輸入食品監視支援業務関連コード更新について (2024年10月18日)

NACCS

【重要】NSS登録情報 (管理責任者情報等) の確認・変更のお願いについて (2024年10月17日)

NACCS

港湾関係業務関連コード更新について (2024年10月17日)

検疫所 食品

輸入食品監視支援業務関連コード更新について (2024年10月15日)

NACCS

【三菱UFJ銀行のリアルタイム口座振替をご利用の方へ】リアルタイム口座使用不可期間のご案内 (不換 不新) (2024年10月15日)

【申込手続(NSS)】のメニューボタンをクリック

3 NSSの利用方法 (利用申込)

1 利用申込の入力例

1-1 新規申込

1-2 変更申込

netNACCS端末の追加 事業所の移転 (引越し)

【1-2 変更申込】をクリック

利用者コード、利用者ID、業種等の変更	
8	利用者コードの追加申込
9-1	識別番号追加
9-2	識別番号の追加 (他事業所と利用者コードを共用する場合)
10	利用者IDの廃止申込
11	
12	
13	自営・兼業の区別変更
14	保税管理資料保存サービスの変更

【14 保税管理資料保存サービスの変更】のPDFマニュアルを参照